

市立博物館

中央一丁目15-18 ☎824-2928

テーマ展

烈公打ちの刀

水戸刀工と金工の名品

期間 9月19日(土)～10月11日(日)



「徳川斉昭肖像(武装)」
弘道館事務所寄託品

水戸徳川家9代藩主斉昭(烈公)は、土浦土屋家11代藩主挙直の実父にあたります。斉昭による水戸藩の財政改革は、大変厳しいものがありました。一方で軍備の充実には積極的でした。このような斉昭の富国強兵ともいうべき政策の中で花開いたのが「水戸物」と呼ばれる刀剣や鐔などの金工品でした。

斉昭は、刀剣に深い関心を寄せ、藩工市毛徳鄰や直江助政・助共父子、勝村徳勝などを補佐として、自ら作刀を行いました。斉昭が作刀した刀剣は「葵くずし」などと呼ばれ、斉昭はこれらの刀剣類をほかの大名への贈答品として、家臣に与えたりしています。また、刀剣の制作が活発になると刀身を納める拵の需要も高くなり、鐔や小道具を制作する金工として萩谷勝平や赤城軒元孚などの名工が輩出しました。

この度のテーマ展では、土屋家伝来の烈公打ちの刀を中心に、水戸の刀工と金工の名品をご紹介します。

展示内容

ところ／市立博物館展示室1・2
開館時間／午前9時～午後4時30分
休館日／9月24日(木)・25日(金)・28日(月)、10月5日(月)
入館料／一般：105円、小・中・高校生：50円
(20人以上の団体は一般75円、小・中・高校生30円)
※毎週土曜日の小・中・高校生は入館無料

烈公(斉昭)打ちの刀「葵くずし」

●徳川斉昭が自ら作刀した刀剣を紹介

幕末の水戸刀工

●市毛徳鄰、直江助政、勝村徳勝などの江戸後期から幕末にかけての水戸刀工の名品を紹介

幕末の水戸金工

●萩谷勝平、赤城軒元孚、一柳友善などの水戸金工の名品を紹介

◎特別公開

土屋家の刀剣の内、重要文化財の刀剣3口を公開
※土屋家刀剣の国宝「左行弘」、重要文化財「恒次」は、ニューヨーク市メトロポリタン美術館「侍の芸術」展(文化庁主催)へ貸し出ししているため、今年度の展示はありませんので、あらかじめご了承ください。

記念行事

展示解説

●市立博物館学芸員による解説

とき／9月19日(土)・26日(土) 午後2時から

10月3日(土) 午後1時から

記念講演会

とき／9月27日(日) 午後2時から

ところ／市立博物館視聴覚ホール

テーマ／徳川斉昭(烈公)をとりまく刀匠・金工たち

講師／中野秀哉さん(日本美術刀剣保存協会評議員)

定員

70人(先着順)

※入館料が別途かかります。

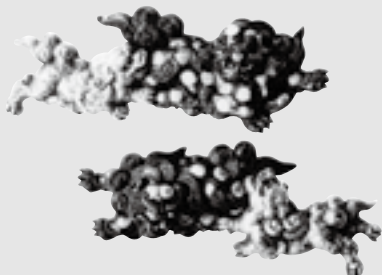
「牡丹獅子図」大小揃金具の内



小柄：「生涼軒勝平(花押)」



縁頭：「水府住萩谷勝平(花押)」



目貫：「萩谷勝平」

私たちの家が建つ前は…

土浦の住宅地開発と遺跡調査

期間 9月19日(土)～11月29日(日)



ところ／上高津貝塚ふるさと歴史の広場内 考古資料館1階特別展示室

開館時間／午前9時～午後4時30分

休館日／毎週月曜日(9月21日を除く)、9月24日(木)・25日(金)、10月13日(火)、11月24日(火)

入館料／一般：105円、小・中・高校生：50円(20人以上の団体は一般75円、小・中・高校生30円)

※毎週土曜日の小・中・高校生と11月3日(火)・13日(木)は入館無料

展示内容

遺跡を発掘するって？

●遺跡ってどんなもの？

日本の遺跡調査の状況

●住宅地となった遺跡

●市内の住宅地建設に伴って発掘調査された遺跡を、年代順に紹介

●紹介遺跡：烏山遺跡群(烏山)、寺家ノ後古墳群(永国台)、寄居・うぐいす平遺跡(上高津新町)、木田

余台遺跡群(木田余東台)、田村・沖宿遺跡群(おおつ野)、六十原遺跡(桜ヶ丘町)、扇ノ台遺跡(中)、

龍善寺遺跡(中高津)ほか



記念行事

記念講演会

●日本における埋蔵文化財保護の歴史とその展望
とき／10月24日(土) 午後1時30分～3時30分

講師／茂木雅博さん(市立博物館長)

●土浦市内の縄文時代中期の遺跡

とき／11月7日(土) 午後1時30分～3時30分

講師／小川和博さん(日考研茨城代表)

市学芸員による展示解説

とき／9月21日(月)、10月17日(土) 午後1時30分～2時30分

◎共通

ところ／上高津貝塚ふるさと歴史の広場内考古資料館

※聴講は無料ですが、入館料が別途かかります。

発掘調査現場見学会

とき／10月29日(木) 午後1時～4時30分解散予定

(雨天のときは中止)

※申込方法など、詳しくはお問い合わせください。

上高津貝塚周辺の遺跡・文化財を歩いて巡る

●穴塚古墳群、般若寺など上高津貝塚周辺に点在する文化財を歩いて巡る見学会

とき／11月28日(土) 午前9時～12時(雨天のときは中止)

同時開催企画

秋季ホール展示「武者塚古墳出土資料」

●日本唯一の古墳時代の髪型「みずら」の実物や銀装大刀など

武者塚古墳石室特別公開(公開は午後3時まで)

●武者塚古墳について石室のある現地で解説
とき／11月3日(火) 午後1時30分から(雨天のときは中止)

上高津貝塚ふるさと歴史の広場

上高津1843 ☎826-7111

霞ヶ浦の湖畔に位置し、水と緑に恵まれた土浦市内では、現在約600か所に及ぶ昔の人々が生活した痕跡である「遺跡」(埋蔵文化財包蔵地)が確認されています。これらの遺跡のうち、上高津貝塚などほんの一部は指定文化財として保護されていますが、そのほかのほとんどの遺跡は、住宅地建設や道路工事などの開発行為によって失われる可能性を持っています。いわば現在の私たちの快適な生活は、これらの開発によって成り立っている反面、その影に失われていった遺跡も数多くあるわけです。

今回の展示では、その中でも私たちの生活に特に関係が深い、住宅地建設によって発掘調査が行われた遺跡を集めてみました。いま私たちが住んでいる場所には、私たちの家が建てられる前にはどのような昔の人たちの営みがあったのか、遺跡を通して紹介することによって、今私たちが住んでいる場所の歴史により親しみをもっていただければと思います。